2　地理歴史・公民

学校番号	２１１

令和３年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理Ａ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	地理Ａ（東京書籍）、新詳高等地図（帝国書院）						
副教材等	新編地理資料 2021（東京法令出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

基礎となる世界地図・日本地図を把握させ、諸地域の特色や課題を身近な存在としてとらえさせる。防災の観点から地形学習にも力を入れる。また来日する観光客が激増している現実を踏まえ、国内外の日々のニュースを取り上げることで、地理的関心を深めさせる。

2　学習の到達目標

・現代社会の地理的事象を系統地理的、地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に生きる人間としての自覚と資質を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	世界の地理的な諸事象・諸課題について、興味・関心を持って意欲的に学習し、理解しようと努めている。 作業学習・調べ学習に意欲的に取り組んでいる。	世界の様々な問題を地球的、地理的視野から考察し、公正に判断しようとしている。	地図の読図や作図、空中写真の読みとりなど、地理的技能を身につけている。 資料や地理情報のの活用方法を身につけている。	現代世界の地理的事象についての基本的な知識を身につけ、相互の関連性や課題を理解している。
評価方法	ワークシート レポート	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査
	〔主題学習〕 振り返りシート	〔主題学習〕 レポート	〔主題学習〕 レポート	〔主題学習〕 内容のまとまり
	※「主題学習」とは主題を設定して行う学習活動で、適切な時間を確保して行う。			

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめる。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	地球儀と地図からとらえる現代社会	・観光による結びつき ・地域間の結びつき ・ 国と国との結びつき ・地球儀と世界	○ ○ ○ ○	 ○	 ○	○ ○ ○ ○	a:世界地図の概形を理解する。 b:身近な地域の地形の変貌について、地形図を基に考える。 c:設定された主題について、事例の考察に必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して読み取り、図表などにまとめる。 d:様々な地域の特徴が頭の中でイメージが持てる。	・受講状況の観察 ・レポート提出 ・定期考査
2学期	世界の生活・文化の多様性	・人々を取りまく地形。自然環境と防災 ・人々を取りまく経済と文化 ・世界各地の生活・文化	 ○	○ ○	 ○ ○	○	a:自然条件による産業の分類だけでなく社会的な背景・歴史的な流れの中で考察する。枚方市防災マップなどを活用しながら、自然環境と防災について考える。 b: 身近な生活に絡めて考察する。 c:必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取り図表などにまとめる。 d:単なる農業の分類にとどまらず、気候・文化の観点から地域を理解する。	・受講状況の観察 ・レポート提出 ・定期考査
3学期	地球的課題の地理的考察	・人口問題 ・環境問題 ・資源・エネルギー問題	○ 	 ○ ○	○ 	 ○ ○	a:全体的に網羅することよりも、特徴的な国々について考える。 b:社会全体の諸事象との関連と考察する。 c:過去と現在の人口ピラミッドなどの資料を作成する。 d:我が国の高齢化社会について考える。	・受講状況の観察 ・レポート提出 ・定期考査

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現
c:資料活用の技能 d:知識・理解

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。